

## [31] 文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2556564>

---

出版情報 : 文學研究. 31, 1942-06-30. 九州文學會  
バージョン :  
権利関係 :

文學研究筆者別索引

(筆者はABC順による、括弧内は輯號を示す)

春日政治

片假名交り文の起源に就いて(一)

古訓漫談(二)

『小學方言講義』より(四)

高野山にて觀たる古點本一二(七)

宇治拾遺物語の一本より(九)

金光明最勝王經註釋一本の古點について(二四)

法王帝説續考(二一)

聖語藏御本央掘魔羅經の字音點(三三)

片山正雄

文學科學概説(一)

小島吉雄

明治初期の歌論(一)

宗祇の晩年(三)

所謂石津本新古今和歌集に就いて(八)

連歌に於ける美的情調(一一、一二)

新古今集歌風と註釋の問題(一八)

春日博士所藏二十一代集中の新古今和歌集に就て(三三)

後鳥羽院の御文學(二五)

新古今集寫本に於ける撰者名の頭書について(二八)

小牧健夫

ヘルデルリンのエトナ劇斷片(二)

クライストの『公子ホムブルク』の一問題(六、八)

銀の從軍記(一一)

ゲートの從軍記(一五)

ヘルデルリンの半神觀(三三、三四、三六)

栄花行(三三)

クライスト隨想(二八)

獨逸浪漫主義の諸問題(一)(三〇)

松枝茂夫

鏡花縁の話―異國廻りを中心として―(二六)

蝶菴居士張岱(二八)

葉天寥とその一家(三〇)

目加田誠

填詞選釋(一一)

民國以來中國新文學(一四)

雅に就いて(三〇)

白樂天の諷諭詩(三三)

郭詩考附東新考(三五)

詩經に詠はれた自然界(二八)

陳磧甫傳(二九)

中山竹二郎

『貧者の友』ウキリアム・ラングランド(一)

イギリス中世の宗教劇(五)

イギリス古劇の詩形について(九)

チヨウサアと現代英語(一一)

散文韻律について(一九)

ウエイリアの英譯『源氏物語』(三三)

チヨウサア その生涯と性格(三七)

キヤンタベリ巡禮の世界(三〇)

成瀬正一

十八世紀に於ける文藝サロン(二、三)

新舊兩派の文藝論争(七)

モンテニユと東洋の悟道(二六)

旅行報告書(二六)

野上豊一郎

杉田芝白とその周囲の人たち(一九)

小野島行忍

ザツカ・パンハ・スツタンタ(三)

リッ・サンハラー(一〇、一一、一三)

梵詩漫語(三三)

梵詩メーガ・ゾータ散文譯(二八、二九)

笹月清美

天平八年の遣新羅使一行の歌(一三)  
古事記の文藝的性質に關する認識の發展(一七)  
文藝活動の機構(二一)  
本居宣長における道と文藝(二三)  
語意考の成立過程を示す二三の傳本について(二六)  
本居宣長の國語研究(二九)

佐藤 通次

世界の極性とゲーテの『ファウスト』(一)  
雅生の悲劇性(歌)(四)  
『思ふ』と『考へ』(一〇、一七)  
『老』と『親』とについて(一一)  
創世神話とわが民族の原體驗(二三)  
『生む』の論理的構造(二五)  
『超人』の事行論的解釋(二七)  
表現の二契機―『見る』と『生む』と―(二九)

進藤 誠一

『ファイガロの結婚』とポーマルシェー(一)  
ユージェニス・ラビツシユの喜劇(六)  
スクレープの功罪(八、九、一一)  
コメデイー・フランセーズの沿革(一四、一五)  
十九世紀中葉以後に於ける佛蘭西風俗劇(一八、二五)  
日本に於けるコメデイー・フランセーズ(三三)  
マリヴオール覺書(二九)

須川 彌作

精神的孤獨感に就いて(一九、二〇)  
マレルプ及びその周囲(二四)

高木市之助

吉野の鮎(二七)  
國見の攻(三〇)

田中 晃

表現の構造(二六)  
萬葉歌人の國家思想(二八)  
行爲と哲學(三〇)  
日本の現實主義と『ものゝあはれ』(三三)  
生成の根據としての自然(三五)

豊田 實

日本に於けるシエイクスピア紹介の歴史(一)  
英吉利漂流邦譯考(四)  
芥川龍之介とエドガ・アラン・ポオ(七)  
基督教聖書和譯の歴史(一一)  
故坪内博士の『英文小學讀本』(一一)  
日本に於ける英文法紹介及び研究の歴史(二〇)  
俳句と英詩(二三)  
生活、文化の英語史緒言の一節(二六)  
反映としての英語史―第一部概観―の緒論(二九)  
言語起原の問題―英語史―(第一節概観)の緒論(二九)

山内 晋卿

六朝時代の展望(二)  
牟子問題の清算(四、五、六)  
王鳴盛氏の佛典觀(一一)

吉町 義雄

『物類稱呼』西國方言索引(一)  
九州方言の特異性(二、三、五)  
島津齊彬の『ローマ日記』と長田穂積の『菊池俗言考』(七)  
博多仁和加用語に現れた活用一段化趨勢(一〇)  
日本語動詞現在時形選論(一五、一七、一九、二二、二四、二六)  
九州方言四段・變格活用動詞分布相(三三)  
紫雲山人鹿兒島方言文學四書抄(二八)  
施福多一日本文庫及日本文學研究提要(三〇)